

花巻市石鳥谷地域協議会 平成25年度第4回会議 会議録

【日 時】 平成25年11月26日（火）午後3時30分～午後4時34分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3階 大会議室

【出席者】 出席委員：7名

菅原昭造、似内英悦、熊谷弘子、高橋貢、玉山規矩夫、
藤原真紀男、晴山美紀子

欠席委員：8名

岩舘大輔、伊藤邦彦、樋口正洋、立花英一、菅原黎治、熊谷幸雄、
藤根勝榮、佐々木さつき

市側出席者（地域づくり課）：1名

阿部勇悦係長

事務局出席者（石鳥谷総合支所）：9名

菅原総合支所長、伊藤地域振興課長、関地域支援監、熊谷地域振
興課主幹兼課長補佐、菅原地域振興課長補佐、熊谷市民サービス
課長、藤原市民サービス課長補佐、菊池産業係長、畠山主査

【傍聴人】 なし

【協 議】 地域課題の継続協議事項について

今後課題解決に向けて、花巻市石鳥谷地域協議会会長・副会長と
石鳥谷地域コミュニティ会議の代表者で意見交換会を平成26年1
月17日に行うこととした。

【その他】 諮問が予定されている花巻市公共交通計画の素案について地域づく
り課から説明を受けた。

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配付資料は以下のとおり

資料1 地域課題の継続協議事項

資料2 商店街の活性化

資料3 花巻市公共交通計画（素案）

資料4 民間路線バスの再編計画について

顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1 開 会 似内英悦副会長が開会を宣した。15：30

2 挨拶

菅原昭造会長

ご多忙のところご参会いただきまして大変ありがとうございます。

今日は、これまでの話し合いをまとめるという形で話し合いを進めて行きたいと思ひます。

その後、12月25日に花巻市石鳥谷地域協議会第5回会議で「花巻市公共交通計画」の諮問がありますし、可能であれば最後に第6回会議を2月頃に開催できればと考えております。

最後の第6回会議では、今年度のまとめとして、「石鳥谷地域協議会だより」の内容を協議して行きたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

3 協議

菅原昭造会長

それでは協議に入らせていただきます。

(1) は地域課題の継続協議事項についてです。事務局説明をお願ひいたします。

畠山主査

(資料1の課題名(5)商店街の活性化以外を読み上げて説明)

課題解決に向けて、地域協議会の会長、副会長とコミュニティ会議の代表者との意見交換会を来年1月17日に開催を予定しております。

菊池産業係長

(資料2 商店街の活性化を読み上げて説明)

資料に記載されている以外に、今月の12日に本庁の商工労政課の係長、担当者、また私どもと商工会議所石鳥谷支所の支所長と会議所の担当者とまた地元商店街の役員さん方で酒蔵交流館において意見交換会を行いました。

その際には、地元商店街の活性化をするための国の事業を紹介するとともに、地元商店街のご苦勞とか、これからに向けてどんな課題があるのか、そういう意見交換会を行いました。

これは、今後の支援事業に役立たせようと開催したものです。

菅原昭造会長

ありがとうございました。

(4) の石鳥谷地域内コミュニティ会議共同実施事業についてはどうしますか。

伊藤課長

現在、石鳥谷の6コミュニティ会議では、共同事業として平成25年度は2つの事業に取り組んでおります。

ひとつは、在京石鳥谷町人会への郷土芸能の派遣事業であります。

これは、平成21年度に新堀コミュニティが行きまして、翌年22年には八重畑、次は大瀬川、そして昨年の八幡コミュニティから共同でしましょうということで各コミュニティから5万円ずつ出しあって共同事業ということで、平成24年度から実施しており、平成25年度は、八日市コミュニティ会議が共同事業の2年目ということで神楽とかが参加しております。

この事業は、一巡するまでということで来年度は好地、再来年は新堀、次は八重畑、大瀬川まで行われます。

もうひとつの共同事業ですが、今年初めて行いましたが、各コミュニティ単位で軽スポーツ大会、公民館単位で地区の大会を行っているかと思いますが、以前旧石鳥谷町の町大会がありました、これの引き続きでの石鳥谷全地区での軽スポーツ大会を行っております。

この運営主体は、スポーツ推進員協議会で主催して行っておりますが、この運営費がどこからも出ないということで、スポーツ推進員さんの報酬から支払っているという話がありまして、それでは大変だろうということで、コミュニティの方から助成しております。

ただ26年度は、花巻市の方で各地区にスポーツ推進協議会を設立していただいて、そこに助成金を出すということになっておりますので、来年度はこの事業は未定になっております。

いずれ石鳥谷の6コミュニティ会議では、今2つの共同事業に取り組んでいるのが実態です。

菅原昭造会長

それでは、資料1に今まで話し合われた内容をまとめていただき、さらに下の方には問題解決に向けての方向付けが書かれておりますが、お話し合いいただいて、何らかの形でコミュニティ会議の代表者の方々に伝えることが出来ればと思います。

何かご意見ありませんでしょうか。

順番にご発言いただきますか。

晴山美紀子委員

商店街の活性化ですが、私も近いので出来るだけ参加して様子をみたいなあと思ひまして出ました。

『秋の陣』の子どもたちの仮装なんてすごかったですね。保護者の方も仮装し

てすごいですし、ただあの一角だけ賑わって、商店街が寂しいですよ。

小学生も石鳥谷小学校の子どもたちばかりで、新堀小学校とかの子どもたちとかはいないようですので、もうちょっと小学生がいればいいなあと思いました。

花北青雲高校生がいる所には、すごいお客さんがきていて、売り子さんの高校生はレジを打つのも不慣れ、袋に入れるのも不慣れで、それはそれで愛嬌があって、こういうやり方もあるのだと見てきました。

こういう空き店舗を利用したのが駅前とかで増えればいいなあと思います。

小さな百貨店「ぷらっと」で小学生の入選した作品を展示したり、盆栽を展示したり、いろんなことをしているようですので、そうするとおじいさん、おばあさんたちが来る、親御さんも来ていいと思います。

藤原眞紀男委員

今の自分の子どもたちは、農業とか手伝わない。

しかし、孫ですね。孫の方には、親はついて行く。

小学校で農業とか力を入れれば、親も興味をもってくると思います。

集客を図るのであれば、小学校なり子ども達がメインになるようであればいいと思います。

玉山規矩夫委員

小さな百貨店「ぷらっと」ですが、だいぶ認知度が上がりまして、石鳥谷でおもしろいことをやっているっけなあということで、だんだん評判も上がってきていると感じます。

商店街の活性化ということで、そこ1箇所2箇所だけでなく、空き店舗をもう少し整備して、全町でコミュニティとか商店とか入るようにして、日にちを決めて町全体が活性化するようにした方がいいのではと提案を受けました。

石鳥谷の町だけの催しでなく、散らばっている商店街もそこに店を出して潤うとか、小さな百貨店「ぷらっと」だけが繁盛して、あとは流行らないではうまくないと思いますので、みんなが潤うような、やり方を考えるべきではないかという意見もありましたし、全体で展開するような方法がいいのではないかと思います。

高橋貢委員

新堀地域で文化祭がありましたが、晴山さんがおしゃっていた、子どもが中心になれば人出が増える。特にも、保育園・小学校に関してはそうなのですが、中学生以上になれば大人の人が出向いてきていただくには、よほど魅力的な企画でないと集まらない。

何年か前ですが、講演の前に子ども達の行事を入れて、子ども達の出番が終わったら保護者の方は帰ってしまっていて、会場が閑散となってしまう、講演の講師の方に申し訳ない状況になったことがあります。

ここ何年かは子どもが興味を持つものを間に入れて、何とか引き止めるような

企画にはしましたが、なかなか難しい。

いま商店街の話がありましたが、いろんな集まりとか地域の行事においても同じような問題がおこるのではないかと思います。特に、中学生とか高校生なんかはクラブとかで忙しいので、運動会のように役を割り当てしないと出てこないのかなあと思います。

こういった部分を考えていかなければならないのかなあと思います。

熊谷弘子委員

せいぜい小学生くらいまでですもんねえ。中学生になればクラブ活動があり、保護者は保護者会とかがあり忙しい。

この間、大瀬川活性化会議の女性団体交流会という団体が、トラック市を大瀬川の閉鎖になったファミリーマートでやり、野菜やらなにやら売ったのですが、すごい人で20万円位の売り上げがありました。それから、花巻農業高校からもパンジーを頼んで持ってきてもらい売ったそうです。すごく好評だったそうです。

雫石でもトラックの荷台を使ったトラック市をやり、趣味でバンドをしている方々が仮装していたりして、想定外の人だったそうです。

そういったことをうちもイベントを行うとき行えば、活性化につながるのではないかと思います。

菅原昭造会長

若い人たちも来ていましたか。

熊谷弘子委員

ええ、主婦はもちろん、若い人たちも自分の作った小物を売っていましたが、終わりの3時頃もまだお客さんが来ていました。

女性団体交流会の代表者に聞いたら、またやりたいと言っていました。

町でも純粋な農家地帯でないのだけれど、同じように例えば収穫祭のようなものをやったらいいのではと思います。いくらか付加価値をつけて、いくらかでも収入につながれば、町も活性化するのではと思います。

似内英悦委員

それぞれのコミュニティ会議のものがあって、そこで成功しているものを、石鳥谷地域として一緒にやってみるといいのではと思います。

商店街活性化のようなことを石鳥谷全地域でやってもいいだろうし、そういうものが欲しいなあと思います。

晴山美紀子委員

好地地区民文化祭で昨年度は歌手の内田あかりさんに来ていただいて「歌とトークショー」をした。教育振興部会の予算で来ていただきました。今年度は、林

家たい平師匠に来ていただいて、すごく人が集まりました。

私たち年代にも喜ばれましたし、子どもたちも喜んで来ていました。

高橋貢委員

素晴らしいことです。好地地区は規模が大きいから予算的にもあったのでしよう。有名人を呼べば人は集まるが、新堀地区だけでやろうとするとなかなか予算的に呼べない。

菅原昭造会長

それこそ代表者会議で話題にしていいと思います。

後ございませんか。

今日の会議は、課題解決に向けての方向付けがなされて、後は代表者会議で伝えることができればいいと思います。資料はまとめていただきましたので、このような形で今年度のまとめとしてよろしいでしょうか。

今日、出された話は代表者会議で伝えていきたいと思います。

4 その他

菅原昭造会長

それでは、4 その他ですが、次回「花巻市公共交通計画」が諮問となりますが、本日、素案の概要説明ということで、担当係長さんに来ていただいております。

よろしく願いいたします。

地域づくり課 阿部係長

(資料3、4について説明)

菅原昭造会長

説明ありがとうございました。次回もまた説明いただくわけですが、この機会に意見・質問等ありましたらどうぞ。

藤原眞紀夫委員

民間バスの利用者が平成18年度から4割も減少している理由はなんですか。

地域づくり課 阿部係長

利用者の減少の背景ですが、いろいろな要因があるかと思いますが、県交通と話し合った訳ではありませんが、悪循環ではないかと思います。利用者が少ないとバスの便が減りそのため不便になり減少したのではと思います。

石鳥谷では、予約乗合タクシーがあり、平均6人7人とほかより多い状況です。

似内英悦委員

新堀での説明会の時、聞き漏らしたのかもしれませんが、デマンドは市内の人以外でも利用できるのですか。

地域づくり課 阿部係長

利用できますが、実際には石鳥谷では事前に登録していただいて、予約していただいている利用となっておりますが、太田地区では、高村光太郎記念館までバスが通ってなくて、バス停でタクシーが待っていて記念館まで送迎していましたが、これは観光の方の利用を見込んだものでしたが、平均乗車が1名あるかないかのため廃止になりました。

菅原昭造会長

次回も説明があるかと思しますので、これで終わりたいと思います。
事務局から何かありますか。

伊藤課長

今回の諮問は、12月25日（水）午後1時30分からです。後日案内を送付いたします。

コミュニティ会議の代表者との意見交換会は1月17日、時間については未定ですが、コミュニティ会議の代表者会議の前に開催する予定としております。

本日はありがとうございました。

5 閉 会 似内英悦副会長が閉会を宣した。16：34